

ドキュメンタリー映画「うまれる」自主上映会報告書

この度は映画「うまれる」の上映会を主催していただきまして、誠にありがとうございました。
 上映代のご請求および今後、より良い作品・サービスをお届けするために以下の報告書にご
 記入の上、【上映会終了から1週間以内にメールにて】お送りくださいませ。

※ 当てはまらないところは空欄のままです。

■ 上映会主催者様について

主催団体名	Happy mother's Factory	ご担当者名	安田 有佳里
お振込名義(お支払いがある場合)		ヤスダユカリ	

■ 上映会について

上映日時	2012年 11月 24日	10時～12時	
	2012年 11月 24日	14時～16時	
上映場所	(都道府県) 京都府	(市区町村) 京都市	
上映メディア (いずれかを選択)	フィルム <input checked="" type="checkbox"/> DVD ※ ブルーレイは2012年1月お申込以降は+5,000円になります	ブルーレイ	
上映方式 (いずれかを選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 有料上映	無料上映	
鑑賞者数(4歳以上の方すべて)	1回目 182人	2回目	174人
	3回目 人	4回目	人
鑑賞者合計(4歳以上の方すべて)	356人	会場の座席数	230席×2 ※使用可能 設定
試写会参加人数	20人	3歳以下の赤ちゃんの人数	多数
「ママさんタイム」は実施されましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえ	
虐待防止キャンペーンは実施されましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえ	

映画『うまれる』自主上映会主催報告書

過去に映画「うまれる」の上映会を開催された事はございますか？	はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
上映会案内チラシを配布いただけましたでしょうか？			
<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえ		
『うまれる』側よりブルーレイ・プレーヤーはレンタルされましたでしょうか？ (+3,150 円)			
はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
英語字幕版をレンタルされましたでしょうか？ (+5,250 円)			
はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
託児・授乳室での同時上映用に DVD を 1 枚追加されましたでしょうか？ (+3,150 円)			
はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
バックアップ用に DVD を 1 枚追加されましたでしょうか？ (+3,150 円)			
はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
障がい者様用バリアフリー版をレンタルされましたでしょうか？ (+5,250 円)			
はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ(※手違いにより届きました)		
監督・豪田トモは講演をさせていただきましたでしょうか？ (+52,500 円)			
はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
学校上映のための支援金ボックスは設置させていただきましたでしょうか？			
<input checked="" type="checkbox"/> はい (合計 ¥1430 を募金して頂きました)	いいえ		
宣材物(チラシ、ポスター)は以下のうちいずれをご選択いただきましたでしょうか？			
<input type="checkbox"/> ①買い取りによる現物郵送	<input type="checkbox"/> ②特別セット価格での買取	<input checked="" type="checkbox"/> ③無料でのデータ転送	
①「買い取りによる現物郵送」の場合、以下のいずれをご購入いただきましたでしょうか？			
チラシ	枚	ポスター	枚
②「特別セット価格での買取」の場合、以下のいずれをご購入いただきましたでしょうか？			
5,250 円(税込)	10,500 円(税込)	21,000 円(税込)	

■ 販売物について

	取扱	販売	余り	販売価格	売上	
サウンドトラック CD		枚	枚	枚	1,890 円	円
パンフレット		冊	冊	冊	600 円	円
書籍『うまれる かけが		冊	冊	冊	1,470 円	円

映画『うまれる』自主上映会主催報告書

えのないあなたへ』(白)								
書籍『えらんでうまれてきたよ』(ピンク)		冊		冊		冊	1,050 円	円
CD およびパンフレットの販売形態	委託販売					買取販売		

※ CD およびパンフレットにおける主催者様手数料は、委託販売は 20%、買取販売は 40%となります。

■ 告知・宣伝・集客について

告知・宣伝・集客の方法につきまして、「この方法が良かった!」というものがございましたら、お教えいただけないでしょうか?
今回の上映会 STAFF はすべてお母さんであり、また資格や特技を生かしながら乳幼児をターゲットにしたお教室を開いているママさん軍団でした。各自のブログでのご案内が口コミを呼んだと思います。また、大学時代の教授にお願いして、講義内で学生さんに PR しました。(授業内容は「社会福祉学」と「教育学」)
協賛・後援などはとられましたか?
はい。「京都新聞社会福祉事業団さま」「FQJAPAN さま」「よーじやさま」その他、大小数社のベビー&おやこをターゲットにしたショップなどから、資金・物品の協賛をして頂きました。
協賛・後援の獲得方法のコツなどございましたら、お教えいただけないでしょうか?
得意ではないので難しい質問です…わかりきったことではありますが、協賛に対する具体的な効果を提示することでしょうか?ちなみに、告知用 DVD は使用しませんでした。

■ 上映会全体を振り返って

上映会当日の様子について簡単にお聞かせください。
【流れ】 開場→虐待防止宣誓文→諸注意アナウンス→本編上映→司会によるエピローグ→会場合唱→退場

【雰囲気】 6～7割程度の来場者様が0～2歳程度のお子様と同伴だったでしょうか。1部2部とも「ママさんタイム」を採用しましたが会場内は思ったより静かで、用意していたロビーでの簡易モニター観賞は少なかったです。さらに6分にもわたる虐待防止宣誓文についてもとても静かに聞いて頂き、すでに涙する方もおられました。

アンケートについても同様に前向きで、上映後・退場後のロビーにて一生懸命書いてきて頂き、正直驚きました。全体的な雰囲気としてはとても温かい空気に包まれており、お帰りの際に「次の上映会はいつですか？」と数人の方に尋ねられました。いつにしましょうか（笑）

上映会を開催された感想をお聞かせください。

まずはとても良い経験となりました。印象的だったのはSTAFFの中の一名が感想を言いながら感極まって号泣したことです。

何のトラブルもなく無事に上映会を終えられたことはもちろん、そしてお客様に喜んで頂いたことももちろん、そしてSTAFF間の絆の深まりや達成感が感じられ、感激のあまり泣けてきたとのこと。当日は小学校教師を目指す男子大学生7名と、助産師学生6名の方にお手伝いいただいたのですが、仕事やプライベートで将来役立つ経験になったと言って頂きました。

映画の素晴らしさ、たくさんの暖かい気持ちを持つ人がたくさんたくさん来て下さったことがこんな気持ちにさせてくれたことに、本当に感謝しています。ありがとうございました。

もし今回の上映会における反省点などございましたらお聞かせください。

次なる目標が無い様で誤解を招くかもしれませんが、とても満足しています。しいて言えば、三浦さんとのやり取りの中で、私自身のレスポンスが遅くご心配・ご迷惑をおかけしたと感じています。バタバタしていて申し訳ございませんでした。

加えて、小さなお子様を持つお母さんの来場が多いとよんでいた本上映会では、お子様と一緒にお母さんだけでゆっくり鑑賞など選択ができるようにと、会場内別部屋にて有料託児を設けました。ですが、事前申し込みも当日利用も少なく、むしろ必要ないと感じました。

実際、私自身も試写会観賞後には子供を抱きしめながら観たいと感じましたし、一緒に観られて良かったとお声もたくさんたくさん頂きました。

もし内外のトラブルやクレーム等がございましたら、今後のためにお聞かせください。

2日後現在、ご来場者様・会場・STAFF内のトラブルの報告やクレームは頂いておりません。

実行された独自のアイデアや企画などございましたらお聞かせください。

本編上映後に会場内全体での合唱を企画しました。熊木杏里さんの「誕生日」という曲をBGMにして、STAFF自身の「うまれる」写真及び動画をスライドショー+歌詞付きのDVDを作成し、上映しながら会場全体で歌いました。

口ずさむ程度ではありましたが、たくさんの方が口ずさむことで、大きな一体感となりました。小学生程度のお子様の大きな声にも救われました(*^_^*)

そして、STAFFに対するご褒美の様な感覚にもなりまして、良い思い出となりました。

その他、何かございましたらご自由にご記入くださいませ。

今回の映画を鑑賞したこと、上映会をさせて頂いたことは私にとってとっても貴重な経験となり、様々なきっかけとなりました。

乳幼児をもつお母さんに対して育児が楽しくなるプロジェクトを企画運営しているのですが、上映会の動機は「様々な「うまれる」を知ることで偏見や差別が無くなり共存しやすくなりHAPPYになるのでは？」という気持ちからスタートしました。

もちろんそれも正直な気持ちですが、無理やりわかりあうことを提案するのは違ったかもしれないなと思っています。

例えば…出演されている4つのご夫婦は自身の話を、(理由はどうであれ)違う環境の人たちに知ってもらいたいのか、そうではなく同じ環境の同士として共感しあうことを望んでいるのか…と考えさせられました。きっと答えはきっと一つではないし、正解もないのだと思いますが、どちらにせよ私にできることは何なのか問い続けようと思います。

映画『うまれる』自主上映会主催報告書

監督を含めた素敵な映画、上映会サポート STAFF さま、私達企画 STAFF 及びボランティア STAFF さん、ご来場いただいた皆様、関係者様全てに出会えたご縁に心から感謝します。

数ヶ月にわたるサポート、本当にありがとうございました(*^_^*)